Vestax

Mixstation

AA-88

取扱説明書

ベスタクス株式会社

154 東京都世田谷区上馬 2-37-1

電話 03-3412-7011 ファックス 03-3412-7013

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

電源プラグをコンセントから抜け

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

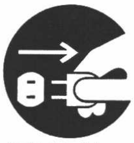
分解禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

指を挟まれないよう注意

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

⚠ 警告



電源プラグをコンセントから抜け

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 電源コードが傷んだら販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上，背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

接触禁止

- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

分解禁止

- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。
- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。
- この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケース上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。
  この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。この機器を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- この機器の内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器の上に水などの入った容器を置かないでください。こぼれた場合、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- この機器のACアウトレットが供給できる電力は、スイッチ連動コンセントが合計200Wまで、スイッチ非連動コンセントが200Wまでです。接続する装置の消費電力の合計が表示の値を越えないようにしてください。火災の原因となります。電熱器具、ヘアドライヤー、電磁調理器などは接続しないでください。また、供給電力以内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器などは、接続しないでください。

⚠ 注意

電源プラグをコンセントから抜け

- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど湯煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

目　次

特長 6
ご使用になる前に 6
各部の名称と操作方法 8
　ミキサーの操作 9
　チューナーの操作 10
　CD の操作 12
　MD の操作 15
リアパネルの各部の名称とはたらき 20
ブロックダイアグラム 21
MD のシステム上の制約 22
こんなときは 22
こんな表示が出たときは 23
保証、アフターサービスについて 24
ステレオ音のエチケット 25
著作権について 25
仕様 26

特長

- 録音・再生用 MD、CD プレーヤー、FM/AM チューナーを内蔵
- CD から MD へデジタル・トゥ・デジタル録音機能
- 外部入力付き 3 ラインに個別フェーダー装備
- 2 ライン間用クロスフェーダー搭載
- CD ピッチコントローラー内蔵
- ステレオ HiFi 仕様で 20W＋20W のクオリティーサウンド
- 正確でチェックしやすい発光型ディスプレイ搭載

オーディオといえば、ただ単にいい音を聴くためのものと思っている人。ブラックフェイスの四角い箱で、操作パネルは前面についているものだと思っている人‥‥。ベスタクスが示す新しい「アクティブオーディオ」という概念が、こうした固定観念を持つ人々を、根底から裏切ります。トップパネルにフェーダーをはじめとするコントロール系を集中させ、前面に MD と CD プレーヤーを内蔵した特別なスタイリング。自分だけのソフトを作ったり、ホームスタジオ用ミキサーや DJ コンソールとして楽しんだり、外部入力にビデオや TV の音声、レコードプレーヤー、有線放送を入れたりカラオケマイクや楽器をつないだりと、オーディオをポジティブに楽しんでしまえる人々の超オーディオ。
それが AA-88「ミクステーション」です。

ご使用になる前に

コンパクトディスクについて

七色に輝く美しい面が表面で、レーベル面が裏面です。
従来のレコードプレーヤーと異なり、コンパクトディスクプレーヤーはレーザー光線のスタイラスでディスクの下側からディスクに触れることなく情報を読みとります。従って、従来のレコードのように使っているうちに性能が劣化するようなことは全くありません。

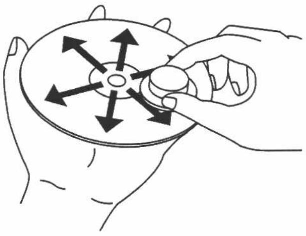
■ ディスクの表面にキズを付けないよう大切に扱ってください。

■ ディスクを大切にするため次のような場所に置くことは避けてください。

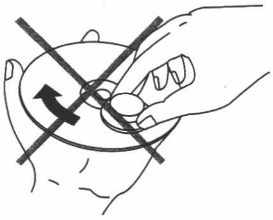
- 直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体に近い場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 窓ぎわで雨などがかかるおそれのある場所

■ ディスクの表面はいつもきれいに

コンパクトディスクの表面には最大約60億個の情報が入っています。ディスクの表面を拭くときは必ずコンパクトディスク専用のクリーナーを使用して図のように拭いてください。



● 放射状方向に
ふいてください.



● 円周方向には、
ふかないでください。

※ 従来のアナログディスク用のクリーナーを使用すると、コンパクトディスク表面に悪影響をあたえますので使用しないでください。

■ ディスクはディスク用ケースに入れて正しく保管しましょう。

ミニディスクについて

MD にはたくさんの特長があります。

1 高音質録音
CD のデジタル信号をダイレクトにデジタル録音。
高音質でクリアーなサウンドが楽しめます。

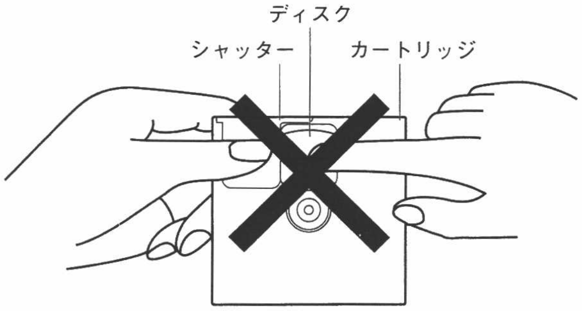
2 高速アクセス
曲や音声とともに、曲の番号や録音時間などを記録。
聞きたい曲がすばやく再生できます。

3 何度でも録音できます
レーザーにより記録面に録音／再生。テープのように切れたり、のびたりすることがなく、何度でも録音できます。

4 小さなディスクで CD と同じ再生時間
71mm × 68mm の小さなサイズに、最大 74 分録音可能。
CD1 枚分の曲を手軽に持ち運べます。

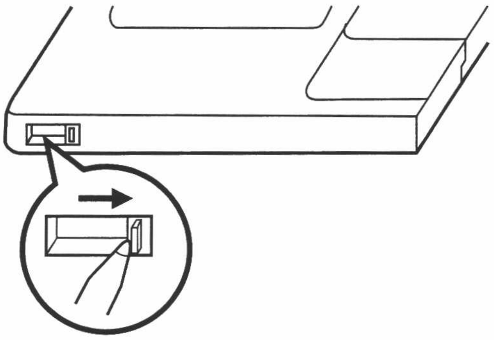
5 取扱いが簡単
ディスクはカートリッジに収められていますので、ほこりに強く、キズもつきにくいなど取扱いが簡単です。

■ ディスクに直接触れないでください



- シャッターを開けて、ディスクに直接触れないでください。
- シャッターは無理に開けるとこわれます。

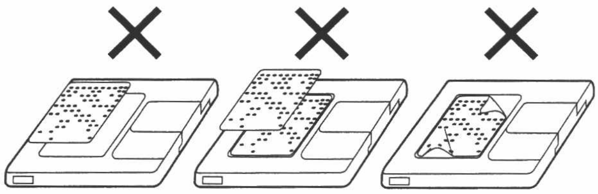
■ 録音した MD を誤って消さないためには



- MD 側面についている誤消去防止ツマミを矢印の方向に動かすと誤消去防止状態になります。（ツマミを開ける。）
- 再び、録音や編集をするときは、誤消去防止ツマミをもとに戻してください。（ツマミを閉じる。）

■ ラベルを貼り付けるときのお願い

MDカートリッジにラベルを貼り付けるときは、必ず次のことをお守りください。
正しく貼り付けないと、MDが内部につまって取り出せなくなることがあります。



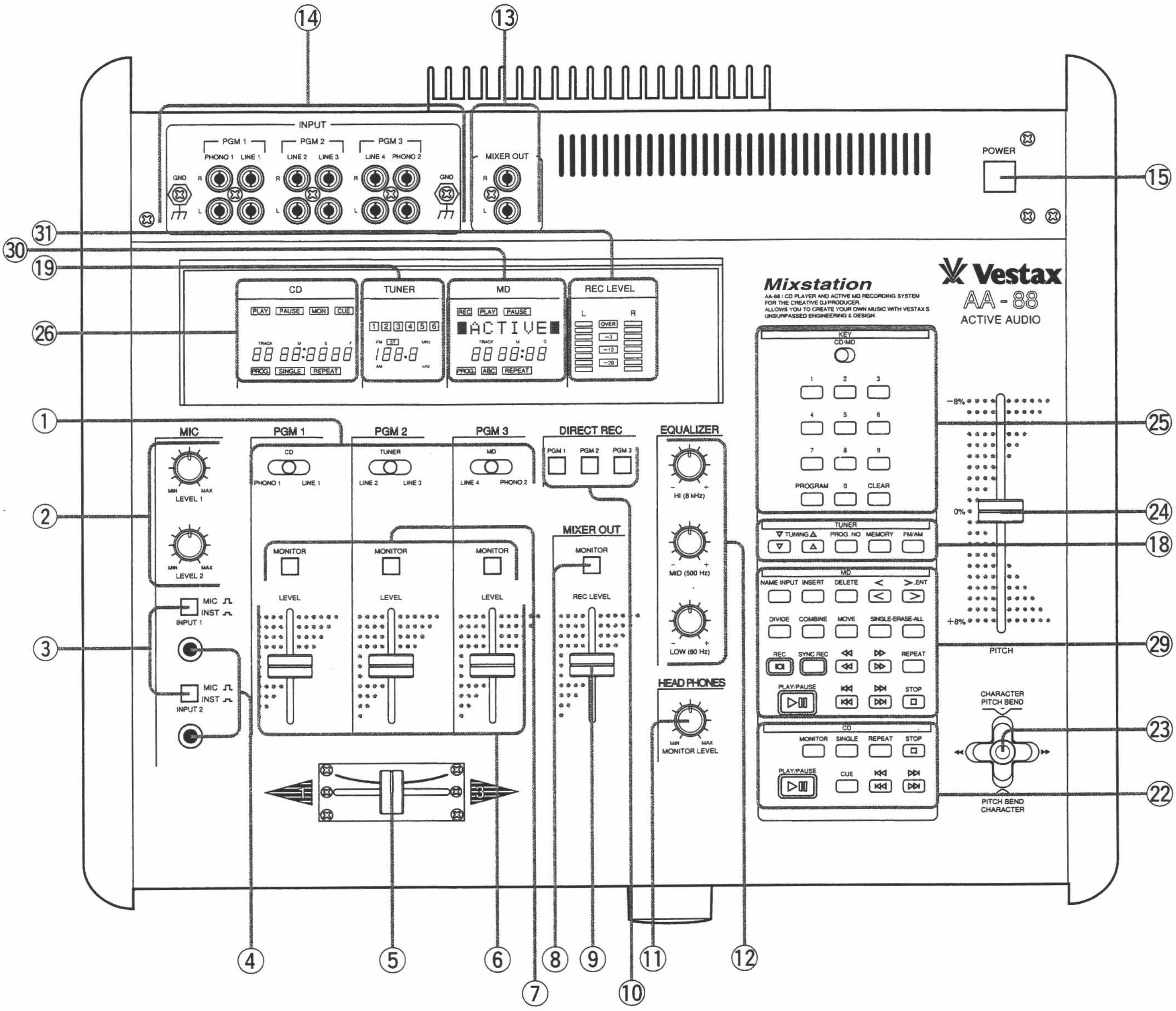
- ラベルは指定の場所（エリア内）に正しく貼ってください。
- ラベルを重ねて貼り付けないでください。
- ラベルがめくれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼り換えて使用してください。

■ 保管場所のご注意

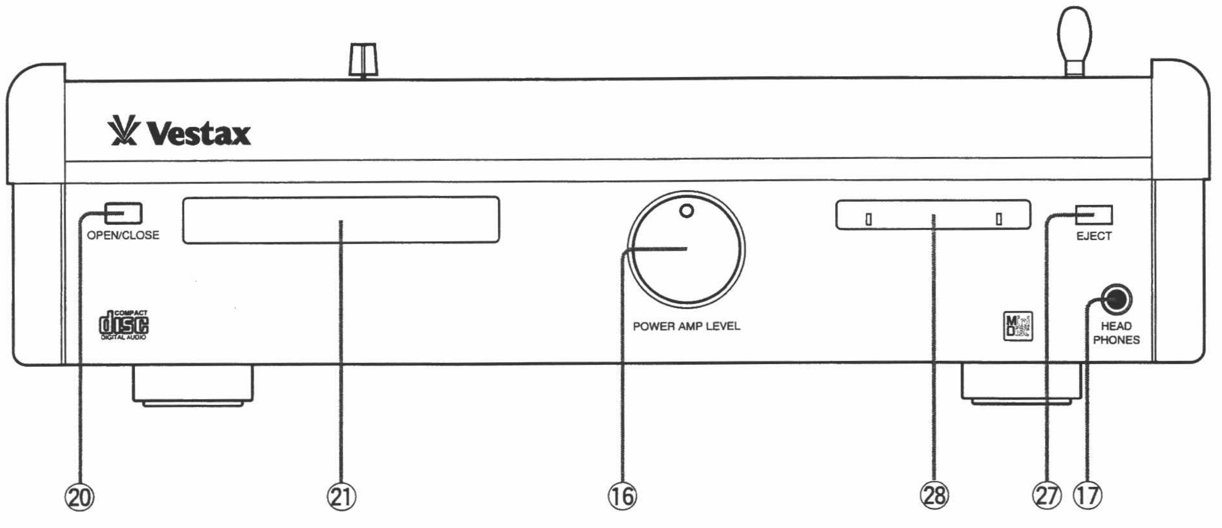
必ず専用ケースに入れて保管してください。
次のような所に置かないでください。

- 直射日光が長時間あたる場所。
（特に密閉した自動車内等）
- 温度の高い所や湿度の高い所。
- カートリッジの中に砂やホコリが入りやすい場所。
（海辺や砂地等）

各部の名称と操作方法



INPUT
PGM 1
PGM 2
PGM 3
MIXER OUT
POWER
Mixstation
Vestax
AA-88
ACTIVE AUDIO
CD
TUNER
MD
REC LEVEL
MIC
DIRECT REC
EQUALIZER
HEAD PHONES
PITCH



Vestax
OPEN/CLOSE
POWER AMP LEVEL
EJECT
HEAD PHONES

ミキサーの操作

① PGMインプットセレクタースイッチ

各PGMのソースを選択します。選択ソースはPGM入力端子に接続された外部ソース、および内蔵のCD、MD、TUNERが選択できます。

各PGMのインプットセレクタースイッチのレバーを選択したいソース側に合わせると、合わせた位置に記入されているソースが選択されます。

② マイクレベル調整つまみ

マイクの音量を調整します。

マイクレベル調整つまみを右方向に回すと音が大きくなり、左方向に回すと音が小さくなります。

③ MIC／INST入力切換えスイッチ（■ MIC／ ▁ INST）

マイク／電子楽器入力端子にマイクを接続するときと、電子楽器（キーボードなど）を接続するときの切換えを行います。

マイク／電子楽器入力端子に電子楽器を接続する時は "INST"、マイクを接続する時は "MIC" 側にします。

④ マイク／電子楽器入力端子

マイクまたは電子楽器を接続する端子です。

⑤ クロスフェーダー

PGM 1とPGM 3のソースのミックス比率を調整します。

クロスフェーダーの位置が "1" 側でPGM 1ソース量が最大となり、PGM 3ソース量が最小のミックス比率となります。

クロスフェーダーの位置が "3" 側でPGM 3ソース量が最大となり、PGM 1ソース量が最小のミックス比率となります。

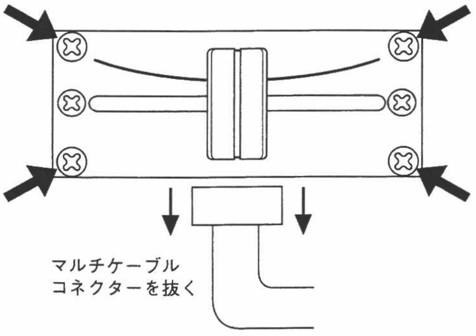
※ クロスフェーダーを動かしたときにノイズが目立つようになった場合は、交換用クロスフェーダーユニット "CF-RG" に交換してください。
なお、交換は次の要領で行ってください。

1 フェーダーユニット取り付けネジ（4本）とノブを外します。

2 フェーダーユニットを取り出します。

3 フェーダーユニットからマルチケーブルコネクターを抜きます。

4 新しいフェーダーユニットに、コネクターを差し込み、取り付けネジでパネルを固定します。



⑥ プログラムレベルフェーダー

各PGM入力の音量を調整します。

フェーダーの位置が目盛り "10" で最大音量、"1" で最小音量となります。

通常 "7～8" の位置でお使い下さい。

⑦ PGMモニタースイッチ

ヘッドホンでモニターするソースを選択します。

モニタースイッチを押すと、押されたPGMのソースのモニターがヘッドホンで行えます。

複数のチャンネルが同時に押されると、複数チャンネルのソースがミックスされて出力されます。

⑧ ミキサーアウト モニタースイッチ

ミキサーアウトの出力をヘッドホンでモニターできます。

⑨ レコーディングレベルフェーダー（ミキサーアウトレベルフェーダー）

ミキサーアウト出力と内蔵MDの録音レベルを調整します。

目盛り "10" で最大出力、目盛り "1" で最小出力となります。

フェーダーの調整は、レコーディングレベルメーターの "OVER" が点灯しない位置でご使用ください。

ご注意

再生音量の調整は、まずレコーディングレベルメーターが適度に振れるよう、レコーディングレベルフェーダーの調整を行い、その後適度な音量となるようパワーアンプレベル調整つまみで調整してください。

この調整を行わないと、ノイズ量が大きく、S／Nが悪かったり、音が歪むことがあります。

⑩ ダイレクトレコーディングスイッチ

内蔵MDでクロスフェーダー、イコライザーを通さずにダイレクトで録音するときに使用します。

レコーデイングセレクタースイッチを押すと、押されたPGMチャンネルのソースが内蔵MDの録音ソースとなります。複数のチャンネルが同時に押されていると、複数のチャンネルのミックスソースを録音できます。

但し、どのチャンネルもレコーデイングセレクタースイッチが押されていない場合は、ミキサー出力のソースが選択されます。

⑪ ヘッドホンレベル調整つまみ

ヘッドホンの音量を調整します。

右方向にまわすと音量が大きくなり、左方向にまわすと音量が小さくなります。

ご注意

⑦、⑧のモニタースイッチを何も押していないときには、ヘッドホンに何も出力されません。

⑫ イコライザー調整つまみ

ミキサー出力のイコライザー調整を行います。

イコライザーの "HI" を調整すると高域の音質が変化、"MID" を調整すると中域の音質が変化、"LOW" を調整すると低域の音質が変化します。

イコライザー調整つまみは、センターでは変化がありません。センターから右方向にまわすとその音域が強調され、センターから左にまわすとその音域が小さくなります。

⑬ ミキサー出力端子
ミキサーでミックスされた音が出力されます。
外部パワーアンプ等を使用する場合に接続してください。

ご注意

⑩のダイレクトレコーディングスイッチを押している場合にはクロスフェーダー、イコライザーはバイパスされて出力されます。

⑭ PGM 入力端子
外部機器を接続する端子です。
PGM 1 .... PHONO 1、LINE 1
PGM 2 .... LINE 2、LINE 3
PGM 3 .... LINE 4、PHONO 2

ご注意

PHONO にはレコードプレーヤー、LINE にはテープデッキ、MD、CD等を接続してください。接続を間違えると十分な音量が得られなかったり、音が歪むことがあります。
レコードプレーヤーにはMMカートリッジを使用してください。

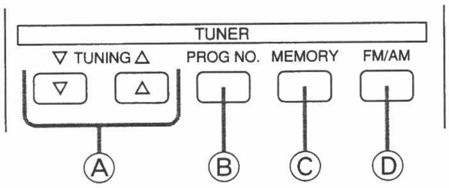
⑮ パワースイッチ（■ OFF／ ＿ ON）
スイッチを押すとオンになり、もう一度押すとオフになります。

⑯ パワーアンプレベル調整つまみ
内蔵パワーアンプの音量を調整します。
右方向にまわすと音量が大きくなり、左方向にまわすと音量が小さくなります。

⑰ ヘッドホン端子
ヘッドホンを接続する端子です。
接続するヘッドホンはインピーダンス8～600Ωのものをご使用ください。
これ以外のインピーダンスのものを使用すると十分な音量が得られなかったり、音が歪んだりすることがあります。

チューナーの操作

⑱ チューナー操作部



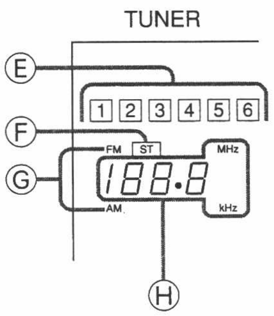
Ⓐ チューニングボタン（▼／▲）
(▼) ボタンを押すと周波数ステップが下がって行きます。
(▲) ボタンを押すと周波数ステップが上がって行きます。
自動選局をさせるには、チューニングボタンを0.5秒以上押します。電波の強い放送があると自動的に停止します。また、連続的に周波数が変わるのを停止するためには (▼)、(▲)、(PROG. NO.)、(FM/AM) ボタンのどれかを押します。なお、チューニングボタンを押し続けている間は周波数が連続的に変化し続けます。

Ⓑ プログラムナンバーボタン（PROG NO.）
あらかじめ選曲したい局を設定している場合のメモリー選局と、聞きたい局をメモリーさせるのに使用します。
(PROG. NO.) ボタンは、ボタンを押すごとにプログラム No. が 1→2→3→4→5→6 とスクロールします。

Ⓒ メモリーボタン（MEMORY）
選局したい局をメモリーするときに使用します。

Ⓓ チューナーバンド切換えボタン（FM/AM）
チューナーのバンド切換えをします。
(FM/AM) ボタンを押すごとに AM、FM と交互にバンドが切換わります。

⑲ チューナー表示部



Ⓔ プログラム表示
プログラムボタンを押したとき、およびプログラム選局中にプログラムナンバーが点灯します。

Ⓕ ステレオ表示
FM 放送のステレオ放送を受信したとき、点灯します。

Ⓖ バンド切換え表示
FM放送を受信のときは "FM"、AM放送を受信のときは "AM" が点灯します。

Ⓗ 周波数表示
選局中の周波数を表示します。

■ メモリー選局

1 (FM/AM) ボタンを押して聞きたいバンド（FM または AM）に設定します。

2 (PROG. NO.) ボタンを押して、選局したい局がメモリーされているプログラムナンバーを選択します。

※ プログラムメモリーには、工場出荷時に、下表の局がメモリーされています。
メモリーされている周波数を変更したい場合は、「メモリーの方法」に従い、再設定してください。

■ メモリーの方法

聞きたい放送局の周波数をメモリーします。

1 (FM/AM) ボタンを押して聞きたいバンド（FM または AM）を設定します。

2 (PROG. NO.) ボタンを押して、メモリーさせたい番号に合わせます。

3 チューニングボタン (▼) または (▲) を押して希望する放送局の周波数に合わせます。

4 (MEMORY) ボタン押します。
プログラムナンバー表示が点滅します。

5 もう一度 (MEMORY) ボタンを押します。
プログラムナンバー表示が点灯に変わり、メモリーが完了します。

※ メモリー動作を途中で中止したい場合は、チューニングボタン (▼)、(▲) または (FM/AM) ボタンを押します。
点滅が点灯に変わりメモリー動作を中止します。
また、メモリー動作中に 10 秒間どのボタンも押されないと、メモリー動作は中止されます。

ご注意

プログラムメモリーされた選局周波数は、約 1 週間保持しますが、長期間AA-88をご使用にならないとメモリーの周波数は工場出荷時のものに戻ります。

プログラムナンバー	1	2	3	4	5	6
FM	80.0 MHz	82.5 MHz	84.7 MHz	80.2 MHz	85.1 MHz	88.1 MHz
	FM 東京	NHK FM 東京	FM 横浜	FM802	FM 大阪	NHK FM 大阪
AM	594 kHz	1134 kHz	1242 kHz	558 kHz	666 kHz	1314 kHz
	NHK 第 1	文化放送	ニッポン放送	ラジオ関西	NHK 第 1	ラジオ大阪

CDの操作

⑳ オープン／クローズボタン（OPEN/CLOSE）

CDのディスク交換の際に使用します。

CDトレイが閉じている時に［OPEN/CLOSE］ボタンを押すとトレイが開きます。

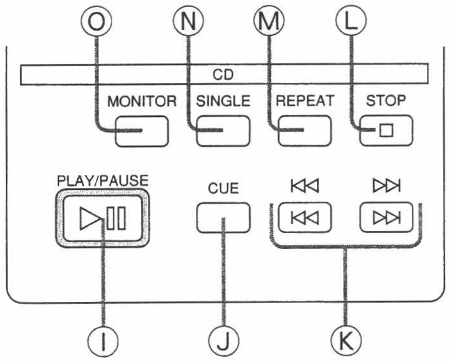
CDトレイが開いている時に［OPEN/CLOSE］ボタンを押すとトレイが閉じます。

※ CDの交換の際はきちんとトレイの中央部ミゾに、レーベル面を上にして載せてからトレイを閉めてください。

㉑ CDトレイ

コンパクトディスクのレーベル面を上にして、コンパクトディスクを入れます。

㉒ CD操作部



ⒾCDプレイ／ポーズボタン（PLAY/PAUSE）

CDを再生するとき、または一時停止をするときに使用します。

Ⓙキューボタン（CUE）

曲フレーズ再生の頭出し等に使用するほか、［PLAY/PAUSE］ボタンと［CUE］ボタンを交互に押すことで、フレーズの繰り返し再生を行うことができます。

一時停止の状態から［PLAY/PAUSE］ボタンを押すことで一時停止状態の位置をフレーム単位で記憶し、"CUE"表示が点灯します。［CUE］ボタンを押すと、記憶した位置まで戻り、一時停止状態で待機します。ここで［PLAY/PAUSE］ボタンを押すと、記憶した位置から正確に再生を開始します。

キューポイントの記憶は、最新の一時停止解除の位置が記憶され、前のポイントは自動的に消去されます。記憶中はCD表示の"CUE"が点灯します。なお、キューポイントの記憶は、停止状態になると消去され、CD表示部の"CUE"が消灯します。

ⓀCDスキップボタン（⏮／⏭）

［⏮］：再生中にこのボタンを押すと、一度目は再生中の曲の頭へ、続けて押すと一つ前の曲の頭へ戻り再生します。

［⏭］：再生中にこのボタンを押すと、次の曲に進み再生します。

ⓁCDストップボタン（STOP）

CDの再生を中止するときに使用します。

CDの再生中に［STOP］ボタンを押すとCD表示部の"PLAY"が消灯し再生を停止します。

ⓂCDリピートボタン（REPEAT）

リピート再生をするときに使用します。

［REPEAT］ボタンを押すとCD表示部に"REPEAT"が点灯し、リピート再生が行われます。ディスクの最終曲が終わると最初の曲に戻り再生します。

リピートを解除するには、もう一度［REPEAT］ボタンを押します。CD表示部の"REPEAT"が消灯して、リピートが解除されます。

Ⓝシングルプレイボタン（SINGLE）

シングルトラック（1曲）のみ再生したい場合、またはシングルトラックのリピート再生のときに使用します。

● シングルプレイ

再生中に［SINGLE］ボタンを押すとCD表示部に"SINGLE"が点灯して、再生中のトラックの終了後、トラックの頭に戻りポーズ状態を保持します。

シングルプレイを中止するにはもう1度シングルボタンを押して下さい。この時、CD表示部の"SINGLE"が消灯しシングルは解除されますが一時停止状態は保持します。

● シングルリピート

［SINGLE］ボタンを押した後、［REPEAT］ボタンを押してください。CD表示部に"SINGLE"と"REPEAT"が点灯して、再生中のトラックがリピート再生されます。

Ⓞモニターボタン（MONITOR）

一時停止状態の時、一時停止しているところの繰り返し音を再生します。フレーズ等の頭出しを決めるモニターに使用します。

一時停止状態の時、［MONITOR］ボタンを押すとCD表示部の"MONITOR"が点灯して、一時停止しているところの繰り返し音を再生します。

モニターを解除するためには［MONITOR］ボタンを再度押すと、CD表示部の"MONITOR"が消灯して、一時停止しているところの繰り返し音の再生を停止します。

モニター解除は、［MONITOR］ボタンを押すことによってのみ解除されます。CD表示部の"MONITOR"が点灯している間は、一時停止状態になると一時停止しているところの繰り返し音を再生します。

㉓ スティックコントロール

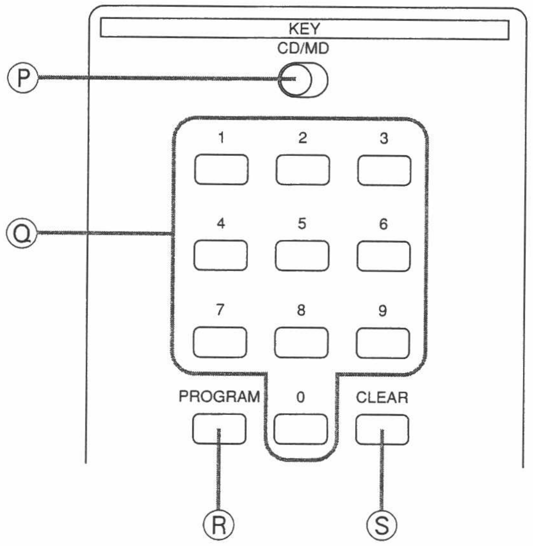
スティックコントロールを上下に変化させるとピッチの可変（PITCH BEND）が行え、左右に変化させるとスキャン（早送り／早戻し）ができます。
ピッチの可変は最大±8%の範囲でできます。

※ PITCH BEND センターの値はピッチ調整フェーダーの値になります。ピッチ調整フェーダーの位置が＋8%、または－8%の位置にあると PITCH BEND を可変させても＋8%以上、－8%以下には可変できません。

㉔ ピッチ調整フェーダー

CD プレーヤーの再生スピードを最大±8%までの範囲で可変できます。
ピッチ調整フェーダーのセンターで通常再生のスピード、＋側で再生スピードが早くなり、－側では遅くなります。

㉕ CD／MD 操作部



Ⓟ CD／MD 切換えスイッチ（CD／MD）

ダイレクト No. ボタン、プログラムボタン、クリアボタンを使用するときに、CD の操作または MD の操作のどちらかを選択するスイッチです。
CDの操作をするときはCD側に、MDの操作をするときは MD 側に切換えてください。

Ⓠ ダイレクト No. ボタン

ダイレクト選曲やプログラム選曲をするときに使用します。

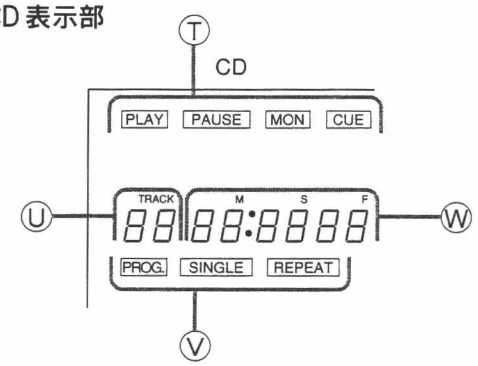
Ⓡ プログラムボタン（PROGRAM）

CD または MD のプログラムをするときに使用します。

Ⓢ クリアボタン（CLEAR）

CD または MD のプログラムを消去、またはディスクネーム、トラックネームを消去するときに使用します。

㉖ CD 表示部



Ⓣ PLAY / PAUSE / MON / CUE 表示

PLAY　：再生時に点灯します。
PAUSE　：一時停止時に点灯します。
MON　：モニター設定時に点灯します。
CUE　：キューポイントが設定されている時に点灯します。

Ⓤ トラック表示

再生中はトラック番号、停止中は総曲数、プログラム入力時はプログラム総曲数を表示します。

Ⓥ PROG. / SINGLE / REPEAT 表示

PROG.　：プログラム設定時に点灯します。
SINGLE　：シングルプレイ設定時に点灯します。
REPEAT　：リピート設定時に点灯します。

Ⓦ 時間表示

曲の残り時間（分、秒）とフレームを表示します。

■ CDの再生のしかた

1 本体の電源がOFFのときは、パワースイッチを押して電源を入れます。

2 (OPEN/CLOSE) ボタンを押してCDトレイを開け、そこにレーベル面を上にしてディスクを乗せます。

3 CDトレイの前面を軽く押すか (OPEN/CLOSE) ボタンを押してCDトレイを閉じます。

4 CDの (PLAY/PAUSE) ボタンを押します。
CD表示部の "PLAY" が点灯し、トラックナンバー、演奏残時間が表示され、1曲目から演奏が始まり最終曲演奏終了で自動停止します。

■ 再生を一時停止するには

再生中にCDの (PLAY/PAUSE) ボタンを押すと、CD表示部の "PLAY" が消灯し、"PAUSE" が点灯して一時停止状態になります。

一時停止を解除するにはCDの (PLAY/PAUSE) ボタンをもう一度押すと、CD表示部の "PLAY" が点灯し、"PAUSE" が消灯して一時停止が解除されます。

■ 再生を停止するには

CDの (STOP) ボタンを押します。
CD表示部の "PLAY" が消灯して、再生を停止します。

■ CDのプログラム再生

1 CDをトレイにセットします。

2 CD/MD切換えスイッチをCD側にします。

3 CD停止時に (PROGRAM) ボタンを押します。

4 ダイレクトNo.ボタンで希望の曲を選択します。

5 (PROGRAM) ボタンを押します。
続けて入力する場合は3～5を繰り返します。

6 プログラムを入力後、(PROGRAM) ボタンを押すとプログラムを確定し停止状態になります。
CD表示部の "PROG" が点滅から点灯に変わります。

7 CDの (PLAY/PAUSE) ボタンを押します。
プログラム順に再生されます。

※ プログラムは20曲まで入力することができます。

● プログラムの確認

プログラム終了後、スキップボタン (|◀◀) または (▶▶|) で確認します。

● プログラムの消去

1 (PROGRAM) ボタンを押します。
CD表示部の "PROG." が点滅します。

2 (CLEAR) ボタンを押します。

※ CDトレイを開いたとき、電源をOFFにしたとき、または (PROGRAM) ボタンを再度押したときにもプログラムは消去されます。

■ CDを再生できないときは

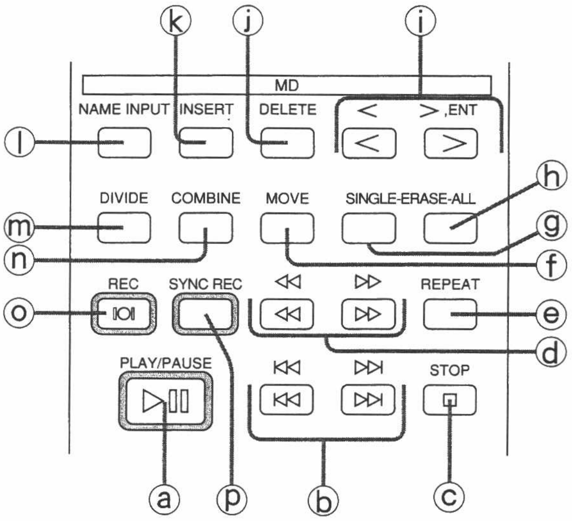
CDが読めない。	● 音楽用CD（CD-DA）のみ再生できます。Video CDやCD-ROMは再生できません。 ● Discにキズや汚れがついていると再生できないことがあります。 ● 湿度の多い場所で使用する、または本体を急に冷すと、CDレンズが結露して再生できないことがあります。
CDが音飛びする。	● Discにキズや汚れがついていると正常に再生できないことがあります。 ● 本体に強い衝撃や振動を加えると正常に再生できないことがあります。
CDの音が出ない。	● CDは再生されていますか？ → ㉖CDの表示"PLAY"が点灯していることを確認してください。 ● ①PGM 1のインプットセレクタースイッチがCDの位置になっていることを確認してください。 ● 本体㉟スピーカー端子にスピーカーが接続されていることを確認してください。または、⑬ミキサー出力端子に外部パワーアンプが接続されていることを確認してください。 ● ⑤クロスフェーダーの位置が◁1側、または中央になっていることを確認してください。 ● ⑥、⑨、⑯の各レベル調整つまみが最小となっていませんか？ → 適量に調整してください。

MD の操作

㉗ イジェクトボタン
MD を取り出すときに押します。

㉘ MD ホルダー
MD を入れるところです。

㉙ MD 操作部



ⓐ MD プレイ／ポーズボタン（PLAY/PAUSE）
MD を再生するとき、または一時停止をするときに使用します。

ⓑ MD スキップボタン（ ⏮ ／ ⏭ ）
⏮ ：再生中にこのボタンを押すと、一度目は再生中の曲の頭へ、続けて押すと一つ前の曲の頭へ戻り再生します。

⏭ ：再生中にこのボタンを押すと、次の曲に進み再生します。

ⓒ MD ストップボタン（STOP）
再生を中止するときに使用します。
再生中に STOP ボタンを押すとＭＤ表示部の "PLAY" が消灯して再生を停止し、MD 表示部にディスクネーム、総曲数、総演奏残時間を表示します。

ⓓ サーチボタン（ ◀◀ ／ ▶▶ ）
◀◀ ：再生中にこのボタンを押し続けると、今演奏している曲を早戻しします。

▶▶ ：再生中にこのボタンを押し続けると、今演奏している曲を早送りします。

※ ポーズ中にボタンを押すと早送り／早戻ししますが音が出ませんので時間を目安にして下さい。ボタンより手を放すとその位置で一時停止状態になります。

ⓔ MD リピートボタン（REPEAT）
リピート再生をする時に使用します。
REPEAT ボタンを押すとMD表示部に "REPEAT" が点灯し、リピート再生が行われます。ディスクの最終曲にくると最初の曲に戻り再生します。
リピートを解除するためには、もう一度リピートボタンを押します。MD表示部の "REPEAT" が消灯しリピートが解除されます。

ⓕ ムーブボタン（MOVE）
曲を並べ換えるときに使います。

ⓖ シングルイレースボタン（SINGLE ERASE）
MDディスク中の1曲のみを削除するときに使用します。

ⓗ オールイレースボタン（ALL ERASE）
MD ディスク中の全曲を削除するときに使用します。

ⓘ カーソルボタン
< ：ネームインプット中にカーソルが左に移動します。

>,ENT ：
- ネームインプット中にカーソルが右に移動します。
- 編集を決定します。

ⓙ デリートボタン（DELETE）
文字を削除します。

ⓚ インサートボタン（INSERT）
スペースを挿入します。

ⓛ ネームインプットボタン（NAME INPUT）
ディスク名や曲名を付けるときに使用します。

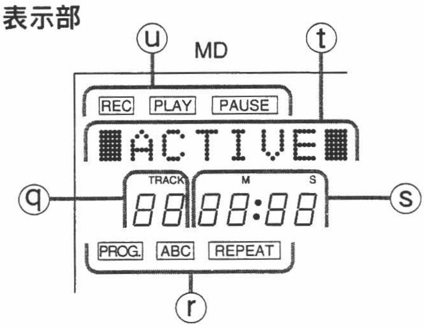
ⓜ デバイドボタン（DIVIDE）
1つの曲を希望の位置で2つに分けるときに使用します。

ⓝ コンバインボタン（COMBINE）
連続した2つの曲をつないで1つの曲にするときに使用します。

ⓞ レコーディングボタン（REC）
通常の録音をするとき使用します。

ⓟ シンクロレコーディングボタン（SYNC REC）
AA-88 の内蔵の MD と CD をシンクロさせて録音するときに使用します。（デジタル トゥ デジタル）

㉚ MD 表示部



ⓠ トラック表示

再生中はトラック番号、停止中は総曲数、プログラム入力時はプログラム総曲数を表示します。

ⓡ PROG./ABC/REPEAT 表示

PROG.　：プログラム設定時に点灯します。
ABC　　：文字入力時に点灯します。
REPEAT ：リピート設定時に点灯します。

ⓢ 時間表示

再生中は再生曲の残り時間を表示し、録音中はディスクの残り録音時間を表示します。

ⓣ 文字表示

ディスク名および曲名を表示します。

ⓤ REC/PLAY/PAUSE 表示

REC　　：録音時に点灯します。
PLAY　 ：再生時に点灯します。
PAUSE　：一時停止時に点灯します。

㉛ レコーディングレベルメーター

録音時のレベルを表示します。

■ 再生のしかた

1 本体の電源が OFF のときは、パワースイッチを押して電源を入れます。

2 MDディスクのラベル面を上にして、ディスクの矢印方向に従い、MD を MD ホルダーに差し込んでください。しばらくすると MD 表示部に MD の情報（ディスク名、総曲数、総演奏時間）が表示されます。

3 MD の (PLAY/PAUSE) ボタンを押します。
MD 表示部の "PLAY" が点灯し、トラックナンバー、曲名、演奏中の曲の残り時間が表示され、1 曲目から演奏が始まり最終曲演奏終了で自動停止します。
MD表示部の文字表示は曲名（曲名が記録されていない場合は "No Name"）を表示します。

※ 100分以上録音されているMDを再生した場合やプログラム設定により、総時間が100分をこえる場合の時間表示は正しく表示されないことがあります。

MDの再生は99 トラックまで再生することができます。

■ 再生を一時停止するには

再生中にMDの (PLAY/PAUSE) ボタンを押すと、MD表示部の "PLAY" が消灯し、"PAUSE" が点灯して一時停止状態になります。

一時停止を解除するには MD の (PLAY/PAUSE) ボタンをもう一度押すと、MD 表示部の "PLAY" が点灯し、"PAUSE" が消灯して一時停止が解除されます。

■ 再生を停止するには

MD の (STOP) ボタンを押します。
MD 表示部の "PLAY" が消灯して、再生を停止します。

■ 録音するには

1 MDディスクのラベル面を上にして、ディスクの矢印方向に従い、MD を MD ホルダーに差し込んでください。

2 ソースレベルをレコーディングレベルメーターで見て、レコーディングレベルフェーダーで録音レベルを調整してください。

ご注意

- 録音レベルはレコーディングレベルメーターの "OVER" が点灯しない範囲でなるべく最大に振れるように調整してください。
- 内部CD から MDにシンクロ録音する場合は、自動的に CD と同じレベルになります。
録音レベルの調整は必要ありません。

3 (REC) ボタンを押します。
MD 表示部に "REC" と "PAUSE" が点灯し、録音待機状態になります。

4 MD の(PLAY/PAUSE) ボタンを押します。
MD表示部の "PAUSE" が消灯し、録音がスタートします。

- 1.5秒以上の無音部分を曲間として曲番が自動的につきます。
- ダイレクトレコーディングスイッチを使用すると、クロスフェーダー、イコライザーを通さずに、押されたPGM チャンネルのソースを録音することができます。

※ 99 トラック以上録音されている場合や、残り録音時間が少ない場合は録音できません。

● 録音部分の途中から録音するには

1 MD 再生中に (PLAY/PAUSE) ボタンを押します。
MD 表示部の "PAUSE" が点灯し、一時停止状態になります。

2 (REC) ボタンを押します。
MD 表示部に "REC Erase OK" が表示されます。

3 (>,ENT) ボタンを押します。
MD表示部の "REC" と "PAUSE" が点灯し録音待機状態になります。

4 MD の (PLAY/PAUSE) ボタンを押します。
MD表示部の "PAUSE" が消灯し録音がスタートします。

ご注意

録音待機状態になった時点で、その位置以後の曲は全て消えます。

■ 曲を消すには

● 1 曲づつ消す（シングルイレース機能）

指定した曲を消します。（曲名も消えます。）

1 停止中にダイレクトNo. ボタン、またはMDのスキップボタンを押して消したい曲番を指定します。

2 (SINGLE ERASE) ボタンを押します。
MD 表示部に "Single Erase OK?" が表示されます。

3 (>,ENT) ボタンを押します。
MD 表示部に "EraseOK?" が点滅表示されます。

4 もう一度 (>,ENT) ボタンを押します。
MD 表示部に "Complete" が表示され、指定した曲が消去されます。

※ 途中で操作を取り消すときは (CLEAR) ボタン、または MD の (STOP) ボタンを押します。

● 全ての曲を消す（オールイレース機能）

ディスク内の全ての曲を消します。（ディスク名、曲名も消えます。）

1 MD を停止状態にします。

2 (ALL ERASE) ボタンを押します。
MD 表示部に "All Erase OK?" が表示されます。

3 (>,ENT) ボタンを押します。
MD 表示部に "EraseOK?" が点滅表示されます。

4 もう一度 (>,ENT) ボタンを押します。
MD 表示部に "Complete" が表示され、全ての曲が消去されます。

※ 途中で操作を取り消すときは (CLEAR) ボタン、または MD の (STOP) ボタンを押します。

■ シンクロ録音（デジタル録音）

● 通常のシンクロ録音

AA-88 の内蔵の CD と MD をシンクロさせて録音します。

1 CD と MD をセットします。

2 (SYNC REC) ボタンを押します。
CD表示部は "PAUSE"、MD表示部は "REC" と " PAUSE" が点滅し、録音スタートできる状態になると表示が点灯に変わります。

3 MDの (PLAY/PAUSE) ボタン、またはCDの (PLAY/PAUSE) ボタンを押します。
録音を停止するには MD の (STOP) ボタン、または CD の (STOP) ボタンを押すとシンクロ録音を中止します。

● プログラムドシンクロ録音

CD をプログラムメモリーします。 ➡ 14ページ
その後通常のシンクロ録音すると、CD のプログラムされた曲順に録音できます。
録音を停止するにはMDの (STOP) ボタンを押すとシンクロ録音を中止します。

- シンクロ録音のとき、CD の曲番が変わると MD の曲番も自動的に変わります。
- CD が終了すると CD、MD ともに自動停止します。（CD によっては、MD が自動停止しない場合があります。）

※ シンクロ録音時にはCD以外のソースは録音されません。

■ MD のプログラム再生

1 MD をホルダーに差し込みます。

2 CD/MD 切換えスイッチを MD 側にします。

3 MD 停止時に (PROG. NO.) ボタンを押します。

4 ダイレクト No. ボタンで希望の曲を選択します。

5 (PROG. NO.) ボタンを押します。
続けて入力する場合は 3 ～ 5 を繰り返します。

6 プログラムを入力後、(PROG. NO.) ボタンを押すとプログラムを確定し停止状態になります。
MD 表示部の "PROG" が点滅から点灯に変わります。

7 MD の (PLAY/PAUSE) ボタンを押します。
プログラム順に再生されます。

※ プログラムは 20 曲まで入力することができます。

● プログラムの確認

プログラム終了後、スキップボタン (⏮) または (⏭) で確認します。

● プログラムの消去

1 (PROG. NO.) ボタンを押します。
MD 表示部の "PROG." が点滅します。

2 (CLEAR) ボタンを押します。

※ MD を取り出したとき、電源を OFF にしたとき、または (PROG. NO.) ボタンを再度押したときにもプログラムは消去されます。

MDの編集操作について

MDの曲の順番を並べかえたり、ディスクや曲の名前をつけたり、MDの編集機能を使って、オリジナルディスクを作れます。編集機能には次のようなものがあります。

■ ディバイド機能（DIVIDE）

1つの曲を希望の位置で2つの曲に分けます。

1 分けたい曲を再生し、分けたいところで (PLAY/PAUSE) ボタンを押して一時停止状態にします。

2 (DIVIDE) ボタンを押します。
MD表示部に "Divide?" と表示されます。

3 (>,ENT) ボタンを押します。
MD表示部に "Complete" と表示し、曲が分けられ、分けられた曲の頭で停止します。

- 分けた曲以降の曲番は1つずつ上がります。
- 曲を分けると両方の曲に同じ曲名がつきます。
- 1枚のMDで99曲まで曲を分けられますが99曲以下でも "TOC Full" の場合は曲は分けられません。
- "PROG." が表示されているときはデバイドの機能は操作できません。
- ディバイドを途中で中止したい場合は、(CLEAR) ボタン、またはMDの (STOP) ボタンを押して下さい。

■ コンバイン機能（COMBINE）

連続した2つの曲を1つの曲にします。

1 つなぎたい曲の後ろの曲を再生し "PLAY/PAUSE" ボタンを押して一時停止状態にします。

2 (COMBINE) ボタンを押します。
MD表示部に "Combine ? " が表示されます。

3 (>,ENT) ボタンを押します。
MD表示部に "Complete" と表示され曲がつながり、つながった曲の頭で停止します。

- つないだ曲番は、1つずつ下がります。
- シンクロ録音（デジタル録音）でCDやMDから録音した曲と、アナログ入力から録音した曲をつなぐことは出来ません。
- 15秒以下の短い曲はつながらないことがあります。
- 曲名は前の曲のものになります。但し、前の曲に曲名のついていない時は、後ろの曲名が付きます。
- "PROG." が表示されているときは、コンバインの機能は操作できません。
- コンバインを途中で中止したい場合は、(CLEAR) ボタン、またはMDの "STOP" ボタンを押して下さい。

■ ムーブ機能（MOVE）

1つの指定した曲を希望する場所に移動します。

1 (STOP) ボタンを押して停止状態にします。

2 (MOVE) ボタンを押します。
MD表示部に "MOV　>" と表示します。

3 移動したい曲番を入力し、(MOVE) ボタンを押します。
MD表示部に "MOV □>"（□は移動したい曲番）と表示します。

4 移動先の曲番を入力し、(MOVE) ボタンを押します。
MD表示部に "MOV □>○"（□は移動したい曲番、○は移動先の曲番）と表示します。

5 (>,ENT) ボタンを押します。
MD表示部に "Complete" が表示され、曲が移動します。

- "PROG." が表示されているときは、ムーブの機能は操作できません。
- ムーブを途中で中止したい場合は、(CLEAR) ボタン、またはMDの (STOP) ボタンを押して下さい。

※ ディスク名、および曲名の入力以外の編集操作中に10秒間どのボタンも押されなかった場合には、操作がキャンセルされます。

停電時について

録音や編集によりTOC更新があったとき、ディスクにその情報が書き込まれる前に停電やACコードがコンセントから抜けた場合、次に電源を入れたときに、更新されたTOC情報がディスクに書き込まれます。

ご注意

停電により書き込まれなかったTOC情報は約3日間保持します。その後、長期間AA-88をご使用にならないときは、保持されたTOC情報は消滅され、ディスクに書き込まれません。

■ ディスク名および曲名の入力

1 ディスク名を付ける場合はMDの (STOP) ボタンを押して、再生を停止させます。
曲名を付ける場合は録音中か、付けたい曲を再生するか、付けたい曲の一時停止中か、またはCD/MD切換えスイッチをMD側にして、ダイレクトNo.ボタンで付けたい曲を選択します。

2 (NAME INPUT) ボタンを押して、MDディスク名および曲名の入力モードにします。
MD表示部の "ABC" が点滅します。

3 スティックコントロールを上下に動かして、文字の種類を選択します。
スティックコントロールを下に動かすと文字種別は次のように変わります。

→アルファベット（大文字）→ アルファベット（小文字）→ 数字 → 記号 → カタカナ → スペース →（アルファベット（大文字）へ戻る）

スティックコントロールを上に動かすと文字種別は反対廻りに変わります。

4 希望の文字が表示されるまでスティックコントロールを左右に動かし、文字を選択します。

5 カーソルボタン (>,ENT) を押すと次の文字入力となります。

6 上記の3〜5を繰り返してディスク名または曲名の入力を終了します。

7 (NAME INPUT) ボタンを押します。
MD表示部に "Complete" が表示され、入力モードを終了します。

- 1枚のディスクには、1つの ディスク名と最大99曲の曲名を付けることが出来ます。
- ディスク名、および曲名は、それぞれ最大80文字まで入力できます。80文字を超えるとMD表示部に "Name Full" が表示されます。
"Name Full" が表示されたら、文字を削除してください。
- 1枚のディスクに入力可能文字は、ディスク名と曲名を合わせると約1700文字まで入力できます。
入力できる文字数を超えるとMD表示部に "TOC Full" と表示されます。
- カタカナを入力している場合は、総文字数が減ります。
- この製品でカタカナを入力した場合、他の機器で正常に表示されなかったり、他の機器でカタカナ入力されたMDは、この製品で正常に表示されないことがあります。
- 再生中の曲名入力時は、その曲の1曲リピートモードになります。ただし、"REPEAT" 表示はしません。
- ディスク名、および曲名の入力を途中で中止したい場合は、MD の (STOP) ボタンを押してください。

■ ディスク名および曲名の修正

● 上書き修正

1 「ディスク名および曲名の入力」の1、2の操作後、カーソルボタン (<) または (>,ENT) で間違えた文字を点滅させます。

2 スティックコントロールにより文字を選択します。

3 (NAME INPUT) ボタンを押してディスク名、または曲名の入力を終了します。

● 挿入修正

1 ディスク名および曲名の入力の1、2の操作後、カーソルボタン (<) または (>,ENT) で間違えた文字を点滅させます。

2 (INSERT) ボタンを押して、スペースを挿入します。

3 スティックコントロールにより文字を選択します。

4 (NAME INPUT) ボタンを押してディスク名、または曲名の入力を終了します。

● 削除

1 ディスク名および曲名の入力の1、2の操作後、カーソルボタン (<) または (>,ENT) で間違えた文字を点滅させます。

2 (DELETE) ボタンを押します。

3 (NAME INPUT) ボタンを押して、ディスク名、または曲名の入力を終了します。

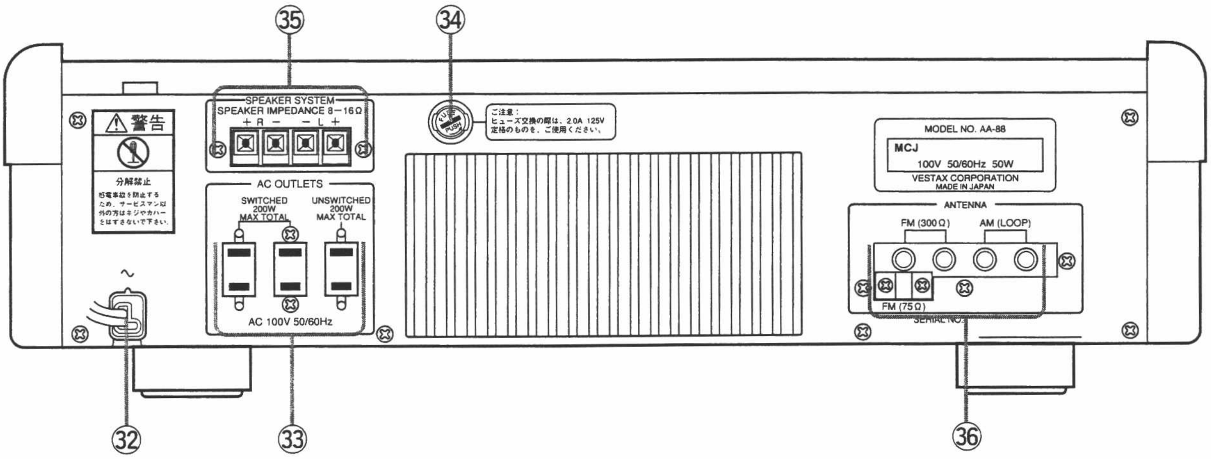
※ (CLEAR) ボタンを押すと入力中の文字がすべて削除されます。

■ 使える文字の種類

文字の種類	入力できる文字
アルファベット（大文字）	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z ␣
アルファベット（小文字）	a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z ␣
数字	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ␣
記号	゛ ゜ ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ _ ‘ ␣
カタカナ	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン ァ ィ ゥ ェ ォ ャ ュ ョ ッ ␣

␣ ：スペース

リアパネルの各部の名称とはたらき



㉜ 電源コード

家庭用電源（AC100V）の電源コンセントに差し込んでください。

㉝ 電源コンセント

● スイッチ連動（合計最大消費電力 200W）
本機の電源スイッチの ON/OFF 切換えに連動して接続した機器に電源を供給します。

● スイッチ非連動（最大消費電力 200W）
本機の電源スイッチの ON/OFF 切換えに関係無く、常に接続した機器に電源を供給します。

㉞ ヒューズホルダー

ヒューズの定格は 2A、125V です。切れた場合、同じ定格のものと取り換えてください。

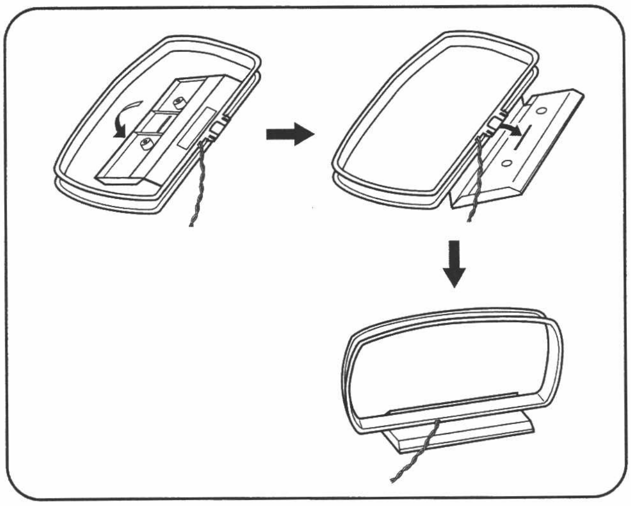
㉟ スピーカー端子

8Ω～16Ωのスピーカーシステムを接続する端子です。

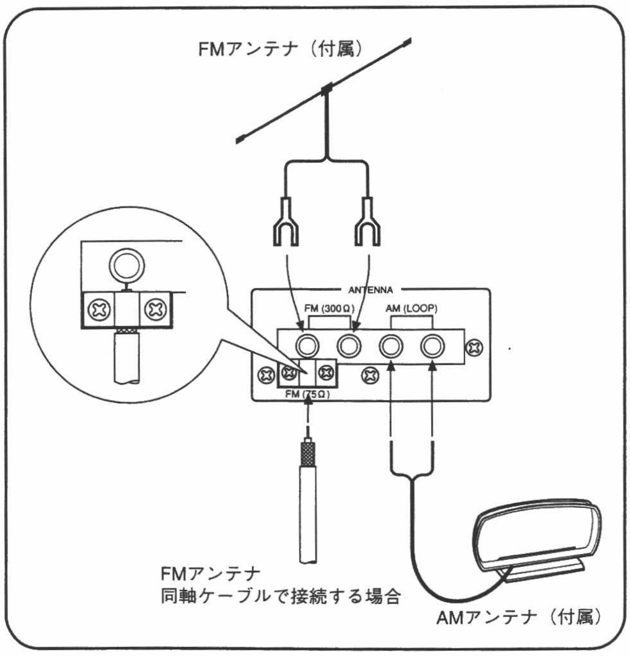
㉞ アンテナ端子

アンテナを接続する端子です。

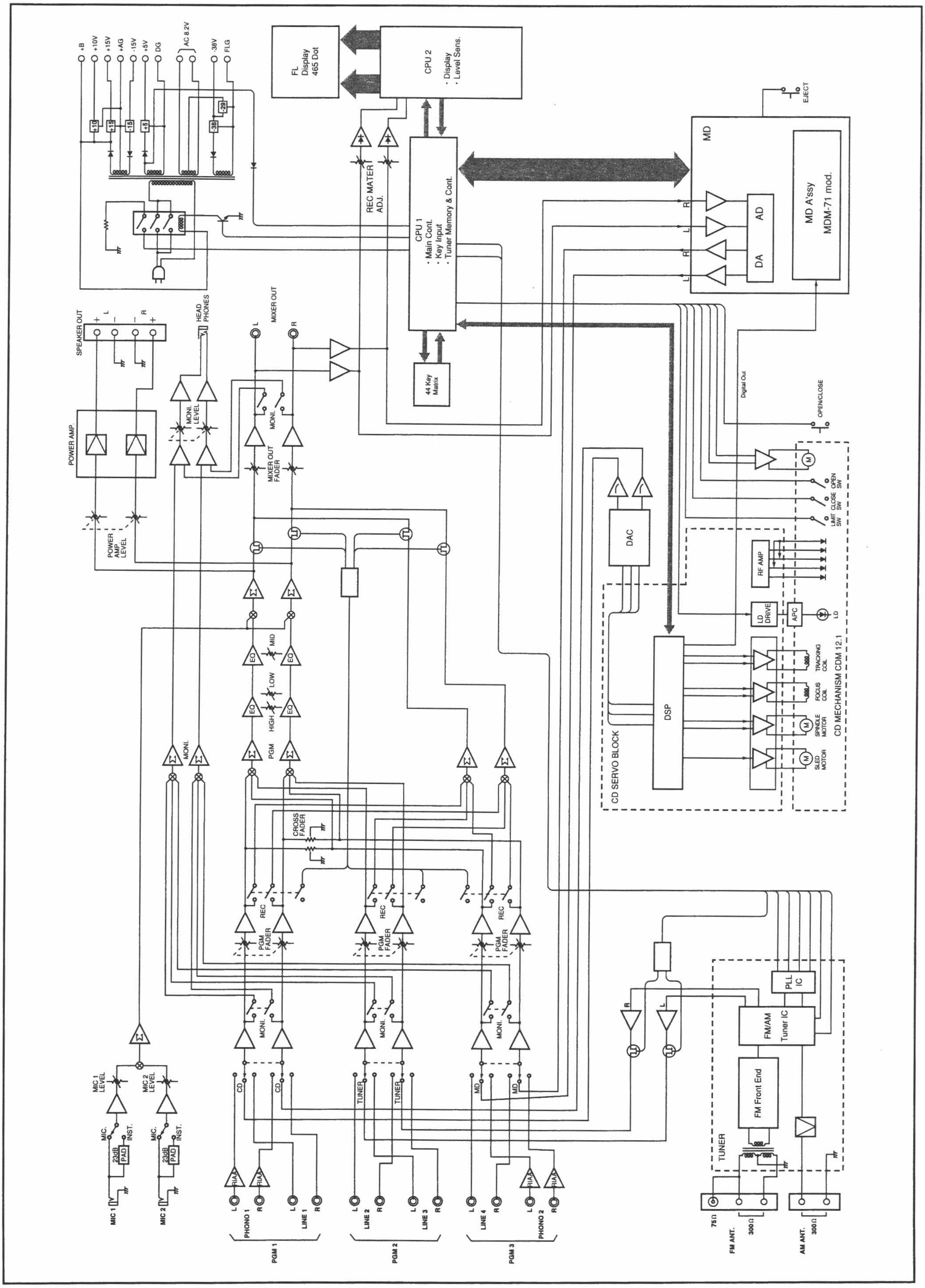
● AM ループアンテナの組み立て



● アンテナの取り付け



ブロックダイアグラム



FL
Display
465 Dot
CPU 2
· Display
· Level Sens.
CPU 1
· Main Cont.
· Key Input
· Tuner Memory & Cont.
REC MATER
ADJ.
44 Key
Matrix
MD
MD A'ssy
MDM-71 mod.
AD
DA
EJECT
OPEN/CLOSE
Digital Out
SPEAKER OUT
HEAD
PHONES
MIXER OUT
POWER AMP.
POWER
AMP
LEVEL
MONI.
LEVEL
MIXER OUT
FADER
CROSS
FADER
PGM
FADER
REC
MONI.
MID
LOW
HIGH
EQ
DAC
DSP
CD SERVO BLOCK
RF AMP
LD
DRIVE
APC
LD
TRACKING
COIL
FOCUS
COIL
SPINDLE
MOTOR
SLED
MOTOR
CD MECHANISM CDM 12.1
OPEN
SW
CLOSE
SW
LIMIT
SW
PLL
IC
FM/AM
Tuner IC
FM Front End
TUNER
MIC 1
LEVEL
MIC 2
LEVEL
MIC.
INST.
23dB
PAD
MIC 1
MIC 2
RIAA
PHONO 1
LINE 1
LINE 2
LINE 3
LINE 4
PHONO 2
PGM 1
PGM 2
PGM 3
CD
TUNER
MD
FM ANT.
AM ANT.
75Ω
300Ω
+B
+10V
+15V
+AG
-15V
+5V
DG
AC 8.2V
-38V
FLG

MD のシステム上の制約

MD は従来のカセットテープや DAT とは異なる方式で録音されます。そのため、録音方法や編集のしかたによって、次のような症状がでることがあります。
これらは、システム上の制約によるものであり、故障ではありません。

MD の最大録音時間に満たなくても "TOC Full" が表示されることがある。	MD システムでは、TOC に MD 上の録音場所の区切りが登録されます。何度も部分的に消去して録音をしたり、編集をくり返すと、曲数が最大（99 曲）にならなくても、TOC の情報がいっぱいになり、録音できなくなります。 （このような MD は、全曲イレース機能を行なえば最初から使用できます。）
MD の最大録音時間に満たなくても "Disc Full" が表示されることがある。	ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある。	MD の録音残り時間を表示するとき、12 秒以下の短い曲などは曲として数えられないことがあります。
MD に録音した時間と残りの時間の合計が最大録音時間と一致しないことがある。	通常は、1 クラスタ（約 2 秒）を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約 2 秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。 また、MD にキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。 （録音中に "Defect" と表示され、MD の曲番が自動的に増えます。）
編集で曲と曲とをつなげないことがある。	録音・編集をくり返して行った MD では、コンバイン機能を使えないことがあります。 また、デジタル入力から録音した曲（CD や MD など）と、アナログ入力から録音した曲をつなぐことはできません。
録音された曲を早戻し／早送りすると、音がとぎれることがある。	録音・編集をくり返して行った MD では、早戻し / 早送り中に音がとぎれることがあります。

こんなときは

電源スイッチが OFF できない。	電源プラグをコンセントから抜いて再度、電源プラグを入れ直してください。
操作部のスイッチが効かない。	電源プラグをコンセントから抜いて再度、電源プラグを入れ直してください。

- 万一異常な音、におい、煙が出たときや、異物が中に入ったときは、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に連絡してください。

こんな表示が出たときは

表　　示	意　　味	このようにしてください
nodISC	● CD が入っていない。	● 音楽用 CD を入れる。
No Disc	● MD が入っていない。 ● MD のデータが読めない。	● MD を入れる。 ● MD をもう一度入れ直す。
Disc ERR	● ディスクにキズがついている。 ● TOC が MD に書き込まれていないか、データに異常がある。	● MD をもう一度入れ直す。 ● 他の MD と取り換える。
? Disc	● データに異常がある。規格外の MD である。	● 他の MD と取り換える。
TOC ERR	● ディスクにキズがある。 ● TOC 情報が読めない。 ● 規格外の MD。	● 他の MD と取り換える。
DiscFull	● MD に録音できる空きがない。	● 他の録音用 MD と取り換える。
Blank Disc	● 何も記録されていない。 （音楽もディスク名も記録されていない。）	● 再生するときは、録音された MD と取り換える。
00:00	● 音楽が録音されていない。	● 録音された MD と取り換える。
Playback	● 再生専用MDに録音や編集をしようとした。	● 録音用 MD と取り換える。
Protect	● MD が誤消去防止状態になっている。	● 誤消去防止状態をもとに戻す。
TOC Full	● 曲番や文字情報（ディスク名／曲名など）を登録する空きがない。	● 他の録音用 MD と取り換える。
Can't REC	● ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。	● 録音をやり直すか、MD を換えてみる。
Tmp Over	● 温度が高くなりすぎた。	● 電源を切ってしばらく休ませる。
Can't EDT	● 編集できない。	● 曲の停止位置を変えて、編集し直す。
NameFull	● ディスク名／曲名が 80 文字をこえている。	● ディスク名／曲名を短くする。
Defect	● ディスクにキズがあるため、録音がとぎれる。	● 他の録音用 MD と取り換える。
MechaERR	● MD が正しく働いていない。	● 取出しボタンを押して電源を切る。
Can'tCPY	● コピー禁止のものから録音しようとした。	● コピー可能なもの（一般のCDなど）に換える。
NotAudio	● オーディオ用でないデータが記録されている。	● 他の曲を選ぶ。 ● MD を取り換える。
UTOCwERR	● ショックやディスクのキズで TOC 情報が正しく作成できない。	● 電源を切って、もう一度書込みをしてみる。 （書込み中はショックを与えないでください。）
UTOC ERR	● 記録されている TOC 情報が MD の規格に合っていなかったり、読めない。	● 他の MD と取り換える。 ● オールイレースをし、録音をやり直す。
PllUnlok	● シンクロ録音のとき、正常な信号が入力されない。	● もう一回 CD と MD をセットし直して録音する。
NotCmplt	● MD 編集が正常に終了しなかった。	● もう一度同じ操作をやり直す。
Error	● その他のエラーが発生した。	● 電源を切ってやり直す。

保証、アフターサービスについて

保証とアフターサービス　（必ずお読みください）

保 証 書 （ 別 添 ）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保 証 期 間
お買い上げの日から１年です。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後８年です。

この期間は通産省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修 理 を 依 頼 さ れ る と き は

異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
（保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。）

保 証 期 間 中 は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
見積りの必要な場合はあらかじめお伝えください。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎ （　　）　―

◆ ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮（思いやり）を十分にいたしましょう。
ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。お互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。

◆ 著作権について

- 放送やレコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カセット、CDなど）、音楽作品は音楽の歌詞、楽曲などと同じく著作権法により保護されています。
- したがって、それから録音したテープを売ったり、譲ったり、配ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の承諾が必要です。
- 使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお問い合わせください。

日本音楽著作権協会

本　　部
〒105　東京都港区西新橋 1-7-13
TEL（03）3502-6551（大代表）

北海道支部　（業務地域　北海道）
〒060　札幌市中央区北一条西 3-2　大和銀行札幌ビル
TEL（011）221-5088（代表）　FAX（011）221-1311

盛岡支部　（業務地域　岩手・青森・秋田）
〒020　盛岡市盛岡駅前通 15-20　ニッセイ盛岡駅前ビル
TEL（0196）52-3201（代表）　FAX（0196）52-4010

仙台支部　（業務地域　宮城・山形・福島）
〒980　仙台市青葉区中央 2-1-7　仙台三和ビル
TEL（022）264-2266（代表）　FAX（022）265-2706

長野支部　（業務地域　長野）
〒380　長野市南千歳 2-12-1　日本団体生命長野ビル
TEL（026）225-7111（代表）　FAX（026）223-4767

大宮支部　（業務地域　埼玉・栃木・群馬・新潟）
〒331　大宮市桜木町 1-7-5　ソニックシティビル
TEL（048）643-5461（代表）　FAX（048）643-3567

上野支部　（業務地域　東京都23区の城東地区・茨城）
〒110　東京都台東区上野 2-7-13　交通公社・安田火災上野共同ビル
TEL（03）3832-1033（代表）　FAX（03）3832-1040

東京支部　（業務地域　東京都23区の東部・千葉）
〒104　東京都中央区銀座 1-15-6　共同ビル銀座１丁目
TEL（03）3562-4455（代表）　FAX（03）3562-4457

西東京支部　（業務地域　東京都23区の西部）
〒160　東京都新宿区新宿 5-17-5　新宿中央ビル
TEL（03）3232-8301（代表）　FAX（03）3232-7798

東京イベント・コンサート支部　（業務地域　東京都・千葉・茨木・山梨）
※コンサートや、イベント等における演奏・上映等
〒160　東京都新宿区新宿 5-17-5　新宿中央ビル
TEL（03）5286-1671（代表）　FAX（03）5286-1670

立川支部　（業務地域　東京都の市、郡部・山梨）
〒190　立川市曙町 2-22-20　立川センタービル
TEL（0425）29-1500（代表）　FAX（0425）29-1515

横浜支部　（業務地域　神奈川）
〒231　横浜市中区本町 1-3　綜通横浜ビル
TEL（045）662-6551（代表）　FAX（045）662-6548

静岡支部　（業務地域　静岡）
〒420　静岡市御幸町 11-30　エクセルワード静岡ビル
TEL（054）254-2621（代表）　FAX（054）254-0285

中部支部　（業務地域　愛知・岐阜・三重）
〒450　名古屋市中村区名駅 2-45-7　松岡ビル
TEL（052）583-7590（代表）　FAX（052）583-7594

北陸支部　（業務地域　石川・富山・福井）
〒920　金沢市香林坊 2-3-25　金沢日産生命ビル
TEL（0762）21-3602（代表）　FAX（0762）21-6109

京都支部　（業務地域　京都・滋賀・奈良）
〒600　京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町 8　京都三井ビル
TEL（075）251-0134（代表）　FAX（075）251-0414

大阪支部　（業務地域　大阪南部・和歌山）
〒542　大阪市中央区南船場 4-3-11　豊田ビル
TEL（06）244-0351（代表）　FAX（06）244-1970

大阪北支部　（業務地域　大阪北部）
〒542　大阪市中央区南船場 4-3-11　豊田ビル
TEL（06）244-7077（代表）　FAX（06）244-1970

神戸支部　（業務地域　兵庫）
〒650　神戸市中央区海岸通 6 番地　建隆ビルⅡ
TEL（078）322-0561（代表）　FAX（078）322-0975

中国支部　（業務地域　広島・岡山・山口・鳥取・島根）
〒730　広島市中区胡町 4-21　朝日生命広島胡町ビル
TEL（082）249-6362（代表）　FAX（082）246-4396

四国支部　（業務地域　香川・徳島・高知・愛媛）
〒760　高松市寿町 2-2-10　住友生命高松寿町ビル
TEL（0878）21-9191（代表）　FAX（0878）22-5083

九州支部　（業務地域　福岡・大分・佐賀・長崎・熊本）
〒812　福岡市博多区博多駅前 2-1-1　福岡朝日ビル
TEL（092）441-2285（代表）　FAX（092）441-4218

鹿児島支部　（業務地域　鹿児島・宮崎）
〒892　鹿児島市東千石町 1-38　アイムビル
TEL（099）224-6211（代表）　FAX（099）224-6106

那覇支部　（業務地域　沖縄）
〒900　那覇市久茂地 1-3-1　久茂地セントラルビル
TEL（098）863-1228（代表）　FAX（098）866-5074

仕様

ミキサー部

入力 .... PHONO × 2 系統
LINE ステレオ×4系統
マイク×2 系統

PGM 数 3

クロスフェーダー ... デタッチャブル方式 CF-RG ／ PGM1-3

TONE CONTROL
- BASS .... 80Hz ± 10dB
- MID .... 500Hz ± 10dB
- TREBLE .... 8kHz ± 10dB

定格入力
- PHONO .... 3.8mV / 40kΩ
- LINE .... 316mV / 13.5kΩ
- MIC .... 3.7mV / 5kΩ
- INST .... 70mV / 35kΩ

定格出力
- MIXER OUT .... 970mV / 1.1kΩ
- HEAD PHONE .... 100mW+100mW (150Ω)

CD プレーヤー部

ディスク .... 12cm または 8cm
サンプリング周波数 44.1kHz
誤り訂正方式 .... CIRC
高周波歪率 .... 0.05% 以下
S/N 比 98dB

パワーアンプ部

出力 .... 20W ＋ 20W（8 Ω）
周波数特性 .... 20Hz ～ 20kHz
S/N 比（A ネットワーク）............ 78dB
高周波歪率 0.05%

FM/AM チューナー部

方式 .... 電子チューニング
受信周波数範囲 ... FM:76.0 ～ 90.0MHz、AM:531 ～ 1629kHz
周波数特性 .... FM:30 ～ 10kHz、AM:100 ～ 2kHz

MD プレーヤー部

高周波歪率（再生時）............ 0.1%
S/N 比（アナログ録音、再生時）............ 85dB

総合

電源 AC100V 50/60Hz
消費電力 50W
寸法 .... W 468mm × H 153.5mm × D 388.5mm
質量 11.4kg

付属品

FM 用 T アンテナ、AM ループアンテナ、取扱説明書、保証書、愛用者カード